

東奥義塾 後援会だより



東奥義塾
後援会会長
小山内 秀明

東奥義塾を担う在校生のために

未曾有の震災から、早四年余りがたつておりますが、津波による原発放射能漏れ事故により、生活環境と基盤が失われた多くの被災者が、今もなお苦しんでおられます。引き続き支援の輪を絶やさず、一日も早い復興を心よりお祈りいたします。



昔その名を稽古館として名を馳せ、現在に至る東奥義塾。本年四月には、二三五名の希望に満ちた新入生を迎え入れ、早四ヶ月が過ぎようとしています。新入生の皆さんは、中学校までの義務教育課程から自らを造り上げる高校教育課程へ進み、期待に胸弾ませ新たな発見に挑んでい

事とします。東奥義塾で学校生活では、自分の将来を見据えて大いに勉学に励むもよし、部活動を通じて、努力の尊厳と礼儀、相手の気持ちを酌み取る感性を身につけるもよし、そして最も大切な事は、師と仰げる友達を作ること、皆さんの人生の宝と

なりませ。そして卒業時には、磨かれた自分に自信を持ち、次なる目標(進学・就職)に挑んで行く事を切望します。二〇一五年度後援会では、生徒減少に伴い会費収入が減少しておりますが、会員相互の連携のもと、草の根運動を推進し、一般維持会員(一口五〇〇〇円)と賛助会員(一口五〇〇〇円以上)の拡充に努め、在校生子供たちのため、を合言葉に支援してまいります。

孫文の片腕 山田兄弟



東奥義塾
対馬 勉

中国の政治家、革命家、辛亥革命を一九一一年に起こし、中国の父、革命の父と言われた孫文という人物がいます。弘前にはその中国の父と呼ばれた孫文の辛亥革命に尽力した人物がいます。山田良政、山田純三郎です。兄弟でともに東奥義塾の卒業生です。津軽が生んだ国際人とも呼ばれ、孫文の片腕となった山田兄弟は弘前市在府町で

生まれました。兄の山田良政は東奥義塾を卒業後、青森師範学校を卒業し、陸羯南の勧めもあり中国に渡ります。その頃に革命の父と言われた孫文と知り合い、その思想に強く共感して革命に参加していきます。孫文最初の蜂起である惠州起義を計画しますが、結局失敗は若くして処刑されてしまいます。革命成功後、孫文は

日本に来て良政の死を嘆き、自ら墓碑銘を書き、直接良政の妻、そして父に哀悼の意を表しました。弟の山田純三郎も兄の遺志を受け継ぎ、革命に従事していきます。弟の純三郎は孫文の側近として、また秘書役として信頼され、蒋介石とも親交を持っています。一九二五年(大正十四年)に孫文は北京で五十八歳にて亡くなりますが、純三郎は孫

発行所
東奥義塾後援会
弘前市大森高等学校内
TEL (0172) 92-4111
印刷所
未来工房
弘前市大字船水字横船341-3
TEL 33-0451(代)

題字について

「後援会だより」の題字は、創刊号より日本義塾元理事長の故郷土文知氏(東奥義塾再興第6回卒業生)に特別お願いして揮毫していただいたものです。



輝け「神の子」 義塾の子

東奥義塾後援会
婦人部部長
秋田 麗子

新緑の季節となりました。我が家の庭では、クリスマスローズ、芍薬、スズラン、バラ、クレマチス、アジサイ、ダリアと、次々に花々が咲き始めます。二年前、両足の手術をし、ベジタブルガーデンは手入れが出来ず、やむなく畑にはバラを植えました。それでも以前、家の周りに植えたアスパラガスやブルーベリーは、孫達が「甘くておいしいよ!!」と、とても喜んで食べてくれます。きゅうりやナス、トマトも植えたいなあと思いましたが、無理は禁物!!と、体の事を第一に考えるこの頃です。暑い日が続いておりましたが、後援会会員の皆様方は、お元気にお過ごしでしょうか。

六月二十三日、糸満市の沖繩平和祈念公園で行われた「沖繩全戦没者追悼式」の様をテレビで拝見いたしました。沖繩県立与勝高、三年生

の知念榎さんの島言葉織り交ぜながらの鎮魂の祈りを込めた「平和の詩」の朗読をお聞きしました。一部ご紹介いたします。

「みるく世がやゆら(今は、平和な世の中なのでしょう)……六月二十三日の世界に 私は問う みるく世がやゆら 戦争の恐ろしさを知らぬ私に 私は問う 気が重い一層戦争のことは風に流してしまいたい かしら忘れてはならぬ彼女の記憶を 戦争の惨めさを伝えねばならぬ 彼女の哀れさを 平和の尊厳を みるく世がやゆら せみよ大きく鳴け思うがままに クワデーイサよ大きく育て 燦爛と注ぐ光を浴びて 古のあの琉歌よ 時を超え今世界中を駆け巡れ 今が平和で これからも平和であり続けるために みるく世がやゆら 潮風に吹かれ私は彼女の記憶を心に留める みるく世の素晴ら

二〇一五年度東奥義塾後援会定期総会開催

◆事業・決算・予算・役員改選承認

◆新副会長に棟方秀和氏を選任

(現PTA副会長)

◆在校生支援として会員拡大を!

一般会員(一口五、〇〇〇円)賛助会員(二、〇〇〇円以上)

二〇一五年度(平成二十七年) 東奥義塾後援会定期総会が、五月二十二日(金)午後五時からサンパレス秋田屋で開催されました。総会は四十一名の出席で小山内会長の議長により、昨年度の活動報告、会計監査及び決算報告、そして今年度の活動方針、予算審議、役員改選の議案審議が行われ、全ての案件が承認されました。また、今年度の後援会活動方針としては①後援会会員の拡大、②後援会のPRとなる後援会だよりの発行(年二回)と内容の充実、③会員の親睦活動の活性化として研修小旅行実施、④東奥義塾同窓会総会での後援会PR活動、



2015年度東奥義塾後援会定期総会



新役員による挨拶

会長	小山内 秀明
副会長	山本 誠造
副会長	齋藤 秀和
副会長(現PTA副会長)	棟方 秀和
副会長(教頭)	木村 義博
監事	秋元 義信
監事	辻野 政信
監事	清野 さつき
婦人部部長	秋田 麗子
婦人部副部長	米澤 珠美
婦人部副部長	成田 千尋
婦人部副部長	千葉 瑛子
婦人部副部長	梅村 里美
婦人部副部長	佐藤 智子
婦人部副部長	古川 一美
婦人部副部長	古川 智子
婦人部副部長	相内 陸子
婦人部副部長	今井 隆範
婦人部副部長	工藤 政博
婦人部副部長	谷川 英一
婦人部副部長	西谷 仁
婦人部副部長	木村 和生
婦人部副部長	木村 直志
婦人部副部長	八嶋 守男
婦人部副部長	對馬 成勉